

● ● ● ▲ ▲ ▲
あそびとまなびの
こうきょう しせつ
公共施設
ガイドブック

New Public Facility Guidebook

どんな建物が
できるんだろう？

→ P.2,6

どうやって案を
決めたの？

→ P.3,4

どんな場所に
なるの？

→ P.1,5

いつ完成
するのかな？

→ P.7



あたら
新しい施設を
しょうかい
紹介します！

「あそび」と「まなび」のための公共施設とは？



建設地の
詳細は
こちらから

歴史公園の南、二の沢川が西に流れる西尾公園の三角形の敷地に中央ふれあいセンターとアクティにしおを統廃合した多目的な複合施設として生涯学習センター（仮称）を建設します。施設は「共生社会実現のために全世代の市民が集う多様な学び・交流の場」がコンセプト。これまでの用途に子どもたちが屋内でおもいきり遊べる「どもワクワク広場」も新たに整備する「あそび」と「まなび」のための公共施設です。

当初の設計案による完成イメージ図



合同会社
齋藤信吾建築設計事務所
(神奈川県横浜市)

事務所代表：

齋藤信吾

- 1987年生まれ
- 建築家



2010年早稲田大学卒。2012年早稲田大学大学院修了。

2012年から早稲田大学助手、助教、専任講師を歴任。

現在、東京理科大学嘱託助教、早稲田大学非常勤講師。

主な受賞歴に、環境設備デザイン賞最優秀賞、グッドデザイン賞、日本建築学会デザイン発表論文懸賞(2019,2022)など。

どんな建物ができるんだろう？
たてもの

施設の設計案は、齋藤信吾建築設計事務所によるもので、三角形の敷地の外周に沿った「逍遥(しょうよう)空間」という回廊状の空間が特徴の平屋建ての建築〔詳しくはP6へ〕です。分棟形式の各部屋は、逍遥空間を通してつながり、建物に囲まれた中央には公園があります。今後、建設するまでの過程や施設を長く利用した後に出てくる様々な要望に応えられる可能性をもった魅力的なデザインの建物です。



当初の
設計案は
こちらから

生涯学習センター（仮称）の設計に求められたポイント

1 にぎわい

不特定多数の市民が利用する

- 多世代交流広場（仮称）
- 貸室
- 子育て家庭が憩う
- 公園

2 繊細

特定少数の市民が利用する

- あゆみ学級にしお
- コンパス
- 多文化ルーム KIBOU

異なる利用者層が互いに使いやすく
周辺環境にも配慮した魅力的な施設にするためには？

設計者の
実績設計料の
価格設計案の
質

今回はどこに
重きを置こう...?

多くの案から最良の設計案を作成した設計者を選ぶ

設計競技（コンペ）方式



採用！

この施設は、様々な背景や年代の異なる多様な市民が利用します。利用者それぞれにとって、心の安らぎを感じられる居場所となり、さらに周辺の魅力的な歴史や自然環境を尊重した公共空間にするためには、機能性に富んだ創造的な設計が求められました。そこで、市では質の高い設計案を広く求められる設計競技（コンペ）方式により設計者を選定することにしました。

どうやって設計者を決めたの？



コンペの
詳細は
こちらから

最優秀案公表

2023.
9.26



- (同) 齋藤信吾
建築設計事務所

2次審査（公開＋非公開）

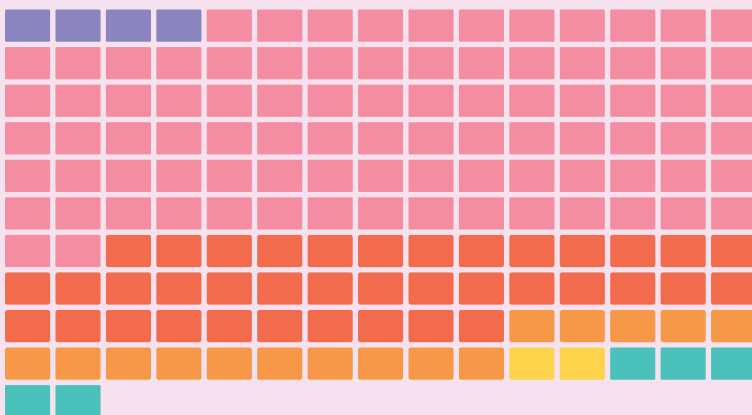
2023.
9.9



- A (同) 齋藤信吾
建築設計事務所
- B (株) ihrmk
- C 砂越陽介
一級建築士事務所
- D (株) タトアーキテクツ
- E (株) 千田建築設計

1次審査（非公開）

2023.
6.17



- 東北 4件
- 関東 88件
- 中部 38件
- 近畿 15件
- 中国 2件
- 九州 5件
- 合計 152件

たくさんの設計案から選びました！
せっけいあん えら

設計競技(コンペ)には、全国から152案もの応募があり、設計案は建築の専門家で構成された選定委員会(千葉学、伊藤恭行、小野田泰明、加茂紀和子、手塚由比 ※敬称略)によって時間をかけ丁寧に審査を行いました。2023年6月の1次審査で選ばれた5案の設計者は、同年9月の2次審査で公開プレゼンと選定委員会との質疑応答を行い、選定委員会の最終審査結果を踏まえて、市は最優秀案などを決めました。



2次審査の様子はこちらから

親子ワークショップ



友だちと
待ち合わせしたり、
お菓子が食べられる
場所があるといいな

カブトムシや
クワガタがくる
木があるといいな

2023.11.3 開催

市民ワークショップ

カフェなどで
軽食の販売をしたい。
お茶ができる
場所があると
会話が生まれる

ベンチを
たくさん置いて、
おしゃべりしたり、
ぼーっとしたりしたい



お城が見えたり、
SLと写真が撮れる
映えスポットが
あるといいな

親子・市民ワークショップを開催しました



親子WS報告書



市民WS報告書

市は齋藤信吾建築設計事務所と設計を進めるなか、東洋大学の仲綾子研究室の企画運営によるワークショップを開催。親子ワークショップでは「こどもワクワク広場でどう遊ぶか」をテーマに、最優秀案の模型の中に子どもたちが自分の人形を入れて遊び方を想像しました。市民ワークショップでは「ここで何ができるか」をテーマに、高校生から高齢者までの市民が模型を囲みながらアイデアを出しました。

生涯学習センター（仮称）の平面図（2024年1月現在）



ポイント 1

**気ままに歩いて滞在できる
三角形の回廊型の逍遥(しょうよう)空間**

施設を利用しない人でもいろいろな方向から自由に通り抜けたり、滞在することができます。

ポイント 2

あそびとまなびの心地よい距離感

使い方の異なる各部屋は、分棟型式で適度な距離感を大切にしながら配置され、回廊(逍遥空間)によって施設を一体的に利用できます。

ポイント 3

一人でも大勢でも! 多様なあそびとこいの場

多世代交流広場(仮称)と一体で使える芝生広場、各部屋に隣接した個性豊かな小さな庭、待ち合わせにも使える半屋外の逍遥空間など、建物の外にも多様な居場所があります。

たてもの
せっけい
すす
建物の設計を進めています!

市と齋藤信吾建築設計事務所は、当初の設計案のコンセプトを大切に、市民ワークショップや関係団体等との協議を踏まえ2025年2月まで具体的な設計を進めていきます。今後は、建物内外の多様な居場所空間を、様々な背景を持つ多様な個人一人ひとりが快適に利用できるように、また、建設コストや維持管理のしやすさといった面も考慮しながら検討を重ねていきます。



現時点の
設計案は
こちらから

いつ完成するのかな？
かんせい

2023年	設計者 選定期間	1月	23日	設計競技(コンペ)の実施要領の公表
		2月	27日	建設地視察会
		5月	8～12日	1次審査用提案図書等の提出
		6月	17日	1次審査(非公開) • 152案から5案を選出
		9月	9日	2次審査(最終) • 2次審査該当者の プレゼンテーション及びヒアリングした後、 非公開審査で最優秀案、優秀案などの 各案を選出
			26日	市が選定結果を公表
	設計期間	10月		設計業務開始
		11月	3日	親子・市民ワークショップ
2024年		2月		設計案のパブリックコメント実施
2025年	工事期間	2月		設計業務終了
		5月ごろ～		西尾公園テニスコート解体工事
		7月ごろ～		新施設の建築・設備・外構工事
2026年	運用	9月ごろ		新施設の一部完成
		10月ごろ		新施設の一部利用開始 • 解体される中央ふれあいセンターにある あゆみ学級、コンパス、生涯学習課事務室を 先行移転
		10月ごろ～		中央ふれあいセンター解体工事及び 駐車場整備工事
2027年		2月ごろ		↓
		4月		新施設のオープン

※ 上記のスケジュールは予定で、諸般の事情により変更する場合があります。



整備計画の
詳細は
こちらから

西尾市生涯学習センター(仮称)ができるまで『あそびとまなびの公共施設ガイドブック』

発行者：西尾市教育委員会事務局 生涯学習課

生涯学習センター(仮称)整備推進室

〒445-0864 愛知県西尾市錦城町162-14

(中央ふれあいセンター2階)

Tel: 0563-55-3515/E-mail: 240sgk@city.nishio.lg.jp

発行日：2024年2月15日

制作：(公社)日本建築家協会東海支部

編集：植野聡子

脇坂圭一(静岡理工科大学)

デザイン：松井健太郎+桑原大輝(BLMU)